

委員会は：

1. 日本が「山・鉦・屋台行事」(No. 01059)を人類の無形文化遺産の代表的な一覧表への記載に向けて提案したことを確認する。：

日本の市や町では、平和や災厄防除を願うため、コミュニティにより山・鉦・屋台行事が毎年行われている。「山・鉦・屋台行事」は、日本の各地域の文化的多様性を示す33件の代表例を含む。この33の行事は、コミュニティの様々な人々の協力を得て、伝統行事として参加者の文化的アイデンティティの重要な一部となる。市や、地域の他の場所出身の老若男女が組織の責任や行事の運営を分担している。地域文化の多様性を示す山・鉦・屋台の設計、製作をはじめ、行事で演奏される囃子(はやし)や行事全体の調整など、すべての段階が共有されている。例えば、高岡御車山祭の御車山行事では、市の中心の住民が山を組み立て、その周辺の地域に住む人々が山を曳(ひ)き、囃子(はやし)を担当する。責任は年齢に応じて変わり、年配の世代が経験の少ない世代や若者に向けて指導を行う。例えば、上野天神祭のダンジリ行事では、参加者はまず囃子(はやし)を演奏する囃子方(はやしかた)と呼ばれる役割から習いはじめ、ダンジリの方向を変える梶子方(てこがた)、ダンジリを守る警固役(けいごやく)、そして最後に行事の運営を取りまとめる采配役(さいはいやく)へと段階的に進んでゆく。

2. 提案書に含まれている情報をもとに、以下の基準を満たしていると決定する：

R.1: 山・鉦・屋台行事は、コミュニティのすべての人たちが集まって平和や災厄防除を願う文化・社会的慣習、儀式及び祭礼行事である。山・鉦・屋台行事は伝承者や実践者(行事が行われている33の市や町のすべての住民)にアイデンティティ、持続性や芸術的創造性を与えるものである。伝承は33の市・町内の家族や保護団体を通して保証されている。コミュニティの人々は青年期から参加し、徐々に必要な技術を習得していく。行事の環境的持続性を計画する取組はベストプラクティスの例になり得る。提案書は関係するコミュニティが山・鉦・屋台を作るために必要な木々をどう持続的に確保し、伐採した後に景観をどう回復するかを説明している。例えば、日田市では次の100年間に山・鉦・屋台の車輪として使用するため、2008年に、市、保護団体、森林組合や住民が1,000本のアカマツの苗木を植えた。また、提案書は、山・鉦・屋台行事が2011年3月の東日本大震災の影響からのコミュニティ回復に貢献した例も挙げている。

- R.2: 提案書は、記載によりコミュニティ内やコミュニティ間で無形文化遺産がいかによりチームワーク、創造性や相互理解を進展させるかを示している。国内レベルでは、記載により日本国内に存在する類似した行事の保護の重要性に対する意識を高める。提案書は、コミュニティが参画した提案プロセスが、関係するコミュニティ間での理解を促進し、また、記載が、33のそれぞれの祭の特色によって与えられる多様性の中でのさらなる協力を促進することを述べている。山・鉾・屋台行事は芸術的多様性と創造性の例である。その記載は人類の創造性に対する尊重を促進する。
- R.3: 提案書は、コミュニティが案件の活力を長期にわたって保証していることを示しており、保護団体の指導のもとコミュニティは自治体と協力し活動を行っている(例:PR, 子供向けの授業, 記録のための調査, 保存, 保護)。今後の保護措置が変化することは予想されておらず、全国山・鉾・屋台保存連合会は記載の影響をモニタリングする。提案書は、関係するコミュニティが提案された措置の企画に直接関与し、自治体・政府の補助を受けながら今後の実施にも積極的に参加することを述べている。
- R.4: 33の山・鉾・屋台行事に関係するコミュニティと地元自治体は拡張された提案書を作成するすべての過程に積極的に参加し、自ら提案書に同意した。同意を証明する書類はこの提案書に附属されている。行事にはいかなるアクセス制限もない。
- R.5: 33の山・鉾・屋台行事は、関係するコミュニティの積極的な参画により、1977年から2015年の間に日本の目録に登録された。文化庁は目録の維持に責任を持ち、目録は関係するコミュニティの人々の参画により毎年更新されている。この提案書に附属されている目録は33の山・鉾・屋台行事が登録された日にちの証拠書類である。
3. 日本の「山・鉾・屋台行事」を人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に記載する。
 4. 提出国(日本)が以前人類の無形文化遺産の代表的な一覧表に記載されていた案件を国レベルで拡張し、再提出したことを称賛する。
 5. 提出国(日本)が提案された案件で環境への影響に注目し、案件に関する自然資源の継続的使用を保証する策を強調したことを更に称賛する。
 6. 運営指示書のI.6に従い、この記載は2009年に記載された「日立風流物」と「京都祇園祭の山鉾行事」に替えるものであることを確認する。